

MICRO MARVELS

THE SMALL LAYOUT GALLERY

日本への旅

Nゲージモジュールレイアウトのコンセプトを考察

PECO は今年の初めに、KATO から 2019 年 7 月 27 日、28 日に開催される T-TRAK ジオラマコンテストへの参加を要望を受け、T-TRAK ジオラマを製作し参加しました。そこで結果として得られた N ゲージモジュールの構成について解説をしていきたいと思います。

製作、著、写真 David Malton & Craig Tiey

T-TRAK ジオラマコンテストは日本の鉄道模型メーカーである KATO が主催する毎年恒例の鉄道模型のモデリング競技大会です。その会場で使用される T-TRAK は日本の N ゲージモデラーによって開拓され KATO のシステム線路であるユニットラックを使用して基準を作り、そこにジオラマを製作して、その出来を競い合うというものです。

このコンテストへの招待状には PECO への要望が 2 つ明記されていました。

1. PECO の線路と KATO のユニットラックの互換性を持たせた敷設をする事。
2. モジュールのジオラマは英国の風景をイメージしたものである事。



▼ 完成した「T-trak モジュール」をファーリッシュの GWR キャッスルが旅客列車を牽いて駅を出発しています。



T-TRAKモジュールキットの内容

KATO は T-TRAK ダブルサイズのモジュールキットを提供してくれました。このサイズは 355mm x 618mm で、これは T-TRAK の規格の一つです。キットには組立済の木製のベースボード、620mm 分の複線ユニットラック線路、DC フィーダーとアジャスター付きの脚 6 本が入っています。そして木製のブロックが 2 つ入っており、これはユニットラック線路を正確にベースボードの前端から 33mm 後ろに下げた位置に配置できる様に使用する治具となります。(線路はベースボード両端より 1mm ずつハミ出る様に長めに設定されています。)

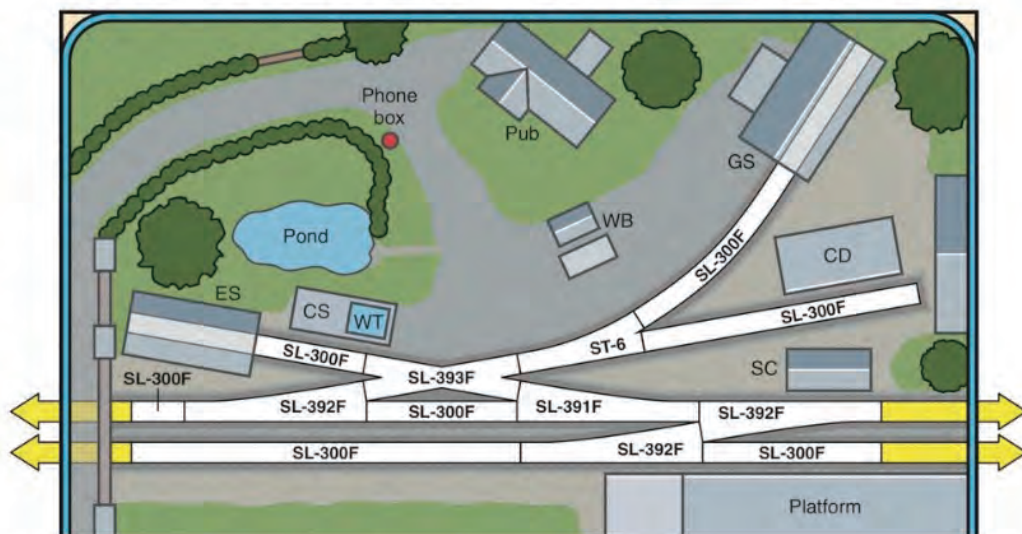
レイアウトプランとテーマ

キットに付属している線路は、
248mm 複線直線線路 (20-004) 2本、
62mm 複線直線線路 (20-042) 1本、
62mm 複線フィーダー線路
(20-043) 1本があり、全てユニ
トラックで構成されています。接続
する別のモジュールのために、
62mm 直線線路を両端に使用する必
要があることから、PECO の線路を
自由に使える距離は494mm となり、
そこからコード 55 とコード 80 の
レールを使った線路配置を検討し
ます。

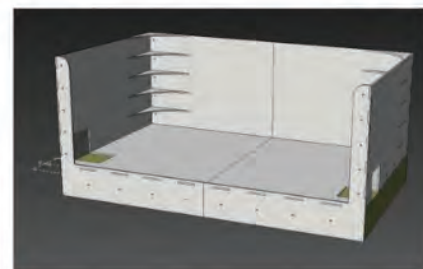
結果が右図です。

テーマは「GWR 鉄道風の駅」とし
ます。実際の風景を忠実に再現す
るわけではないので、ストラク
チャーはPECO のプラスチック
キットを使う事にしました。

「KATO ユニトラック
線路」は一体成型され
た道床付線路が特徴で、
固定も簡単にできます。



3mm 合板製の背面版
とその補強構造のパー
ツはレーザーカット機
で加工し、その設計は
CAD で行っています。



背面版の製作

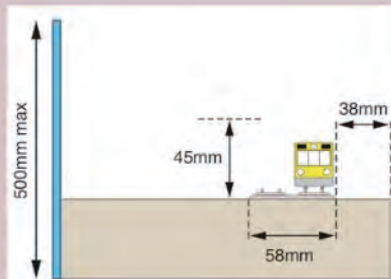
線路の敷設を始める前にモジュールの背景写真を設置するための背
面版を作ります。これは飾りだけでなく、日本へ輸送する際にモ
ジュールが破損しない様に保護する目的も合わせ持つため、補強の
ために筋交い構造などを取入れる事にしました。この設計には3D
CAD を使用し、レーザーカット機で3mm 合板の加工をしています。
上の右図がCAD の画像です。詳しくは後で記述します。

日本への輸送

完成したモジュールは、KATO T-TRAK ジオラマコンテスト
に間に合う様、7月中旬にPECO デボン本社から発送し、数
日後には無事に日本に到着しました。KATO の加藤社長か
らはPECO とのコラボで進めているOO9シリーズと共に、
このモジュールがイベント来場者から大きな注目を集めている
事を聞いています。

T-TRAK の特徴

T-TRAK はベース
ボード外寸や線路配
置を規格化したも
ので、それを展示会場
などで多数の個人作
品を接続し、1つの
レイアウトにする事
ができます。



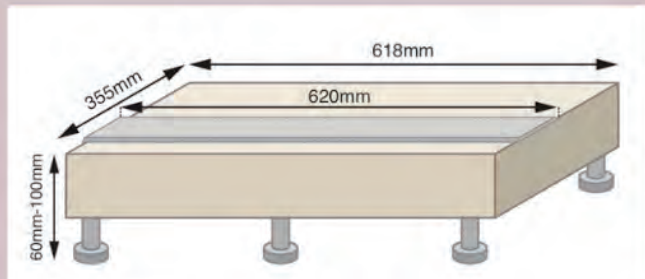
基本となるシングルサイズの寸法は355mm x 308mm (図はダブルサイズ) であり、自宅が手狭でも取組み易いサイズで、付属
しているユニトラック線路を使用すればレールの切断やハンダ付け、バラスト散布も省略できるというメリットもあります。
また、既に様々なレイアウトを作ってきたモデラーにとっても、新しい技法を試す機会や、同じ趣味を持つモデラーと一緒に
楽しむ良い機会としても提案できます。

T-TRAK は日本や多くの欧州でも人気がありますが、最も発展しているのは北米で、NゲージだけでなくHO、Oゲージでもモ
ジュールコンセプトが確立されています。このコンセプトが英国で発展していない事は、英国の自宅事情を考えると驚くべき
事です。

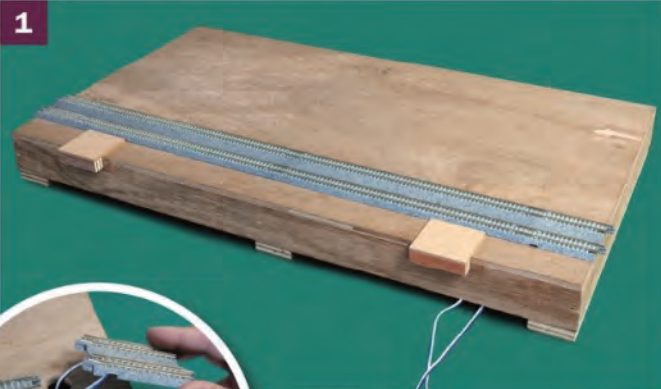
T-TRAK の詳細や世界中のクラブのアドバイスやアイデアの詳細については下記 web サイトを参照してください。

www.t-trak.com

www.ttrak.wikidot.com



1



KATO ユニトラックを付属の木製ブロック治具を使用して、配置し固定します。左写真はフィーダー線をどの様に穴に通すかを表しています。次に62mm 複線直線線路を左右に1つずつ配置するため、その位置を鉛筆で記します。これは最終的にボードから適切に線路がハミ出す様にするためです。

2



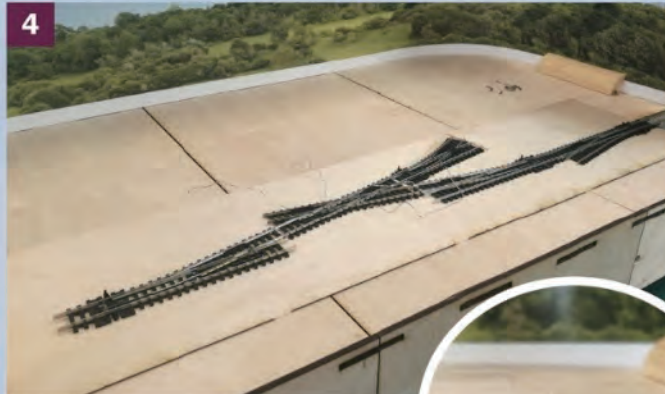
背面板を取り付けるために、一旦ユニトラック線路を外します。背面板は3mmの合板を背面板を取り付けるために、一旦ユニトラック線路を外します。背面板は3mmの合板をレーザーカットして作り、組立には木工用ボンドや小さなネジを使用してベースボードに固定します。線路端にはT-TRAKの規格で、幅58mm、高さ45mmの建築限界が指定されているため、右写真の様に開口部を設ける必要があります。62mm 複線直線線路をベースボードに固定した時、レールの上面がT-TRAKの基準に合っているかに注意して下さい。

3



背面板に背景用の写真を貼り付けます。角は2の手順写真の様に丸くなるパーツを付けてあります。サイド側には写真を留めるための留具を追加しました。

4



PECO コード55をユニトラック線路と接続するためには、コード55を4mm 高上げる必要があるため3mmと1mmの合板を道床として追加します。コード55とユニトラック線路の接続用ジョイナーにはPECOのレールジョイナー(PL-310)を使用し、ユニトラック線路に付いているジョイナーは外してしまいます。

奥にあるパブの製作方法については8月号で説明しています。道路を走るGWR時代の古いトラックはBase Toys製です。



5



使用するレールでコード 80 のポイントがあります がコード 55 のレールより枕 木が厚いため 1mm 嵩を下げる必 要があります。(右写真)

上の写真は線路の敷設が完了した状態です。前述したコード 80 のポイント以外の線路は全てコード 55 で敷設しています。

6



使用する予定の建物が予定通りに配置できるかを検討す るために、仮置きしてみます。

7



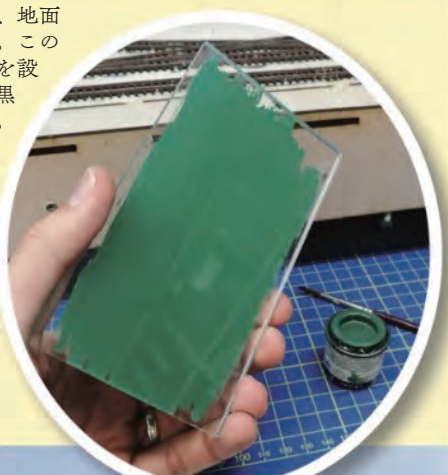
左奥の土地は少しだけ高くしたいので、サブベースを 背面に沿って追加します。そこから左端に沿って道路 は線路を跨ぎます。トンネルポータルには(下写真) PECO (NB-34) のキットを使い、適合させる様にし ました。



8



紙粘土を使用して、地面の段差を埋めます。この段階で駅のホームを設置しレール側面を黒褐色に塗装します。62mmのユニットラック線路も含めて線路の敷設が完了させています。池の表面は透明なプラ板に塗装をしたもので表現しました。(右写真)



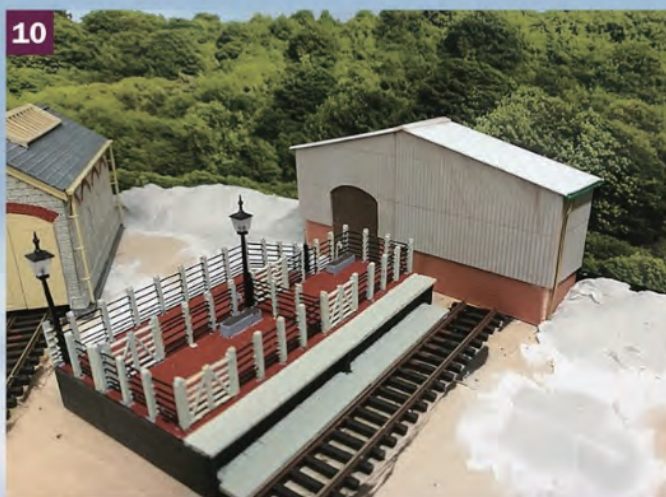
FarishFowler 3F 0-6-0T は撮影用に配置しましたが、それ以外の車両、車などは全て接着剤によって完全に固定されています。

9



「PECO ファイングレード グレーストーン」(PL-305)を使用してバラストを線路に散布します。木工用ボンドに水を混ぜたボンド水をスプレーボトルで散布しますが、その間は背面の写真を保護するためにシートを被せてあります。

10



牛のオークション会場と思われる建物の一部は「Builder Series」と「Material Sheets」を使用して作りました。レンガ表現は「Bric Walling Stretcher Bond」(301)を、壁は「CorrugaterIron / Plastic」(312)を、建物のドアは「Doors」(311)のパーツを雨樋は「Guttering & Downpipes」(300)のパーツを使用してホームの様な場所は「Cattle Dock」(品番 202)を組み立てています。



▲ Dapol GWR 2-8-0 が空の石炭貨車をかき鳴らしながら駅を通過します。

最終仕上げに「K&M」シリーズの樹木や「Scene Static Grass」で作った生垣を追加して完成です。
外側のパネルは、表面を研磨して綺麗にした後、青に塗装しました。

11



「PECOSceneStaticFibres」を使用して草を表現します。色や長さの違うものを混ぜて不均一さを出す事でリアルになります。

12



エントリーされた作品は、「KATO T-TRAK ジオラマコンテスト 2019」で接続されます。

